

OSSセミナーin熊本

OSSの具体的導入の意義  
-オープンオフィスを例題として-

OSSAJ 山田博英  
1/16/2008

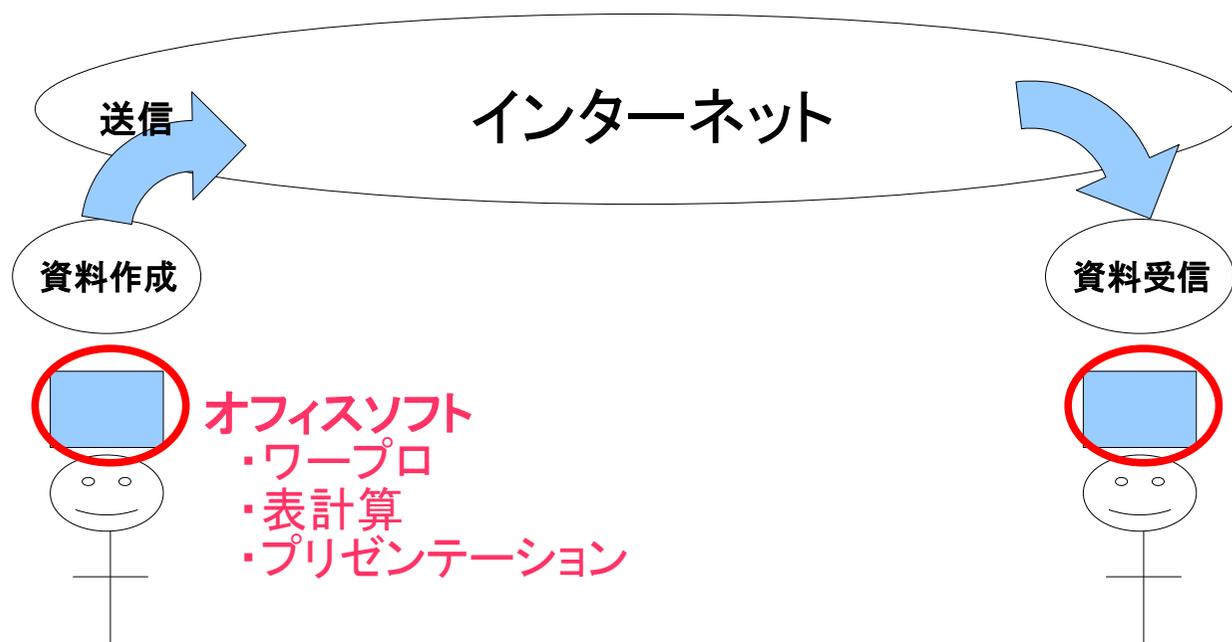
## オープンオフィスとは:

オープンオフィスという製品は、世界中で皆が使っているマイクロソフトのオフィスとほとんど同じものであり、オープンソースで提供されている、しかも無料な製品である。世界ではサンやグーグルやIBMの応援もあってシェアを伸ばしてきている。日本ではほとんど知られていない。

## オープンオフィスを巡る疑問点:

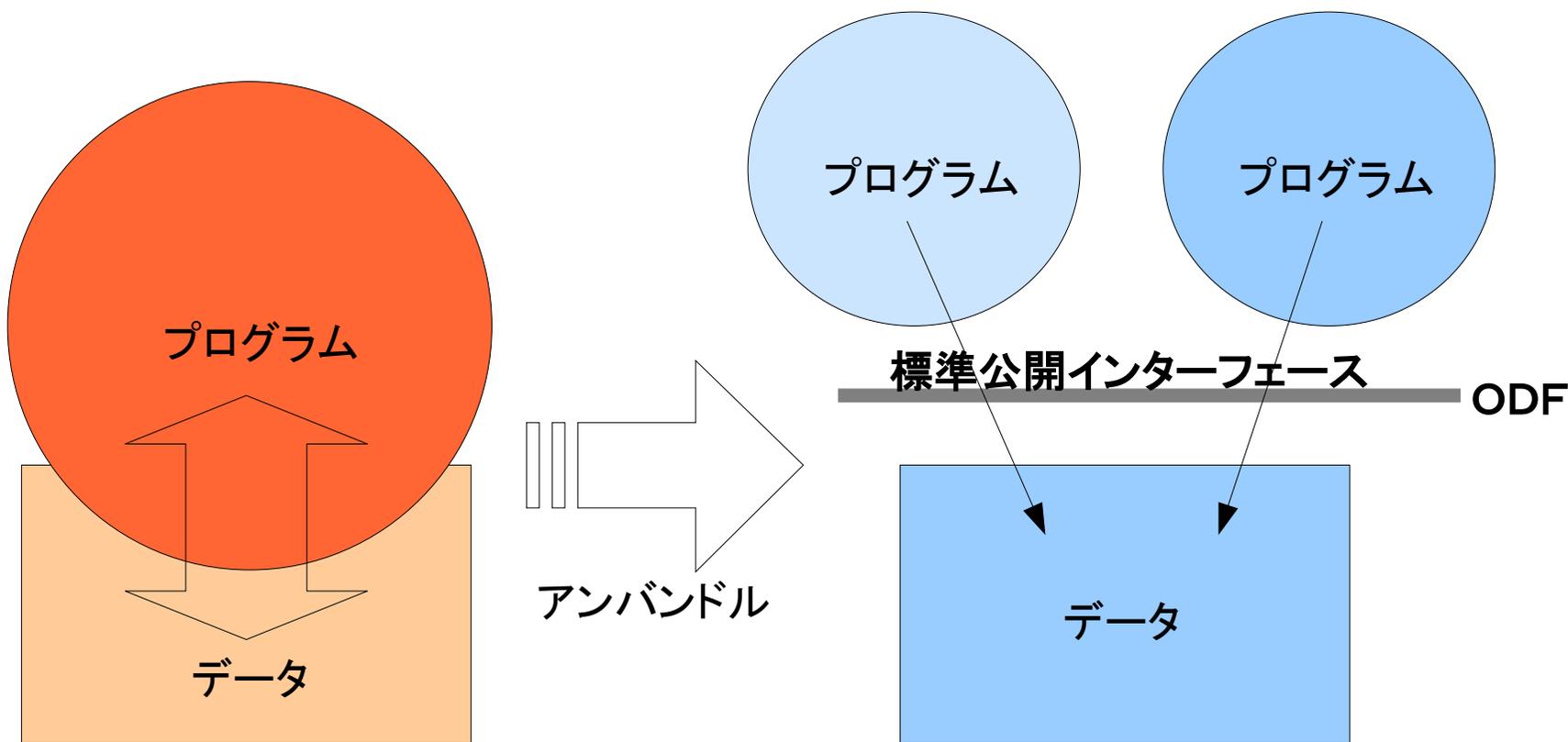
- (1) オープンオフィスみたいなものを誰が何の目的で無料で提供するのか。
- (2) 何故日本では知られていないのか。

## ネットワークの外部性



コミュニケーションの道具として情報交換に使われるものは、相手も同じものを使っていなければそれができないために、製品のよしあしに関係なく、みんなが使っているものを使わねばならない。そのような性質をネットワークの外部性という。ファックスはその例であるが、ファックスではオープン・スタンダードを使って作られているために、どこの会社のものを使ってもOKである。オフィス製品もそれと同じであるが、既存のマイクロソフトの製品はオープンスタンダードを採用していないことで独占状況を作っている。そこで、ファックスと同じようにオープン・スタンダードであるODFを使ってそれをやろうとするオープンオフィスが世界的には支持を増してきている。

## 公開標準インターフェースによるシステムの再構築



総合囲い込み文化による統合  
—プログラムとデータの一体化

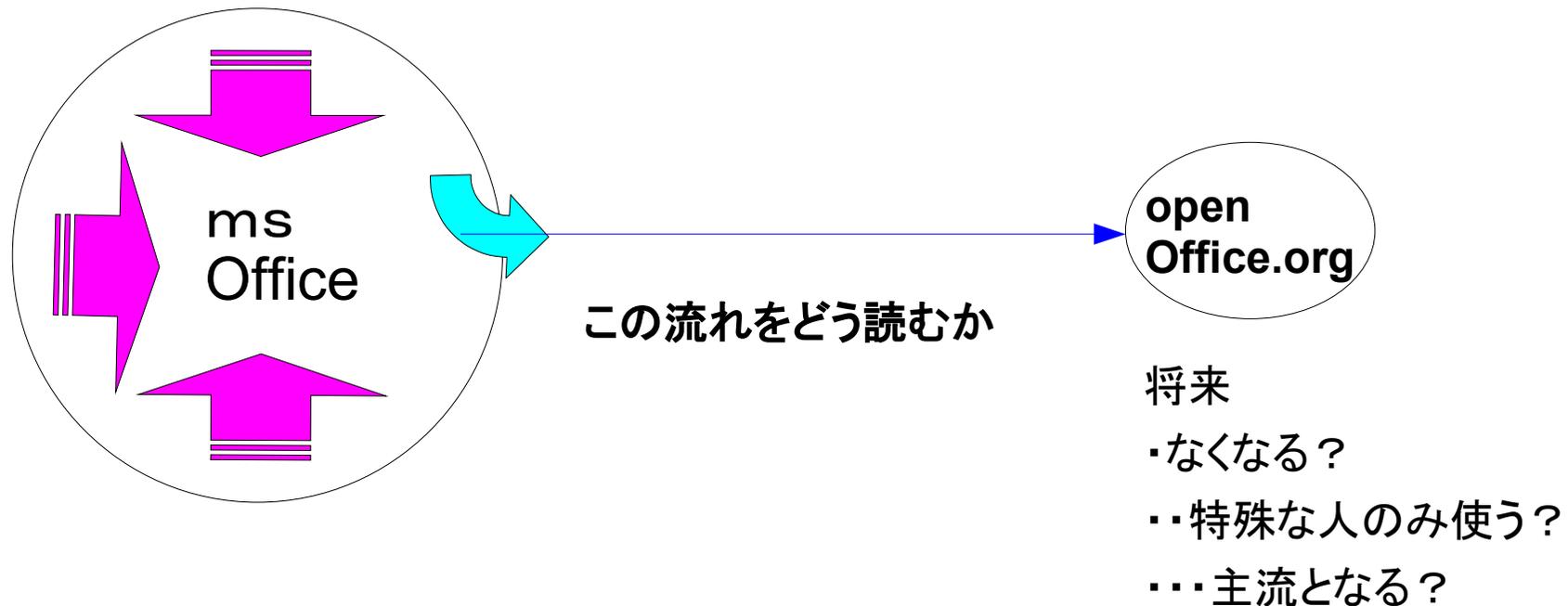
自分の所のプログラムでなければ  
データの読み書きができないことを利  
用して囲い込みをしようとする製品で  
ある。

標準公開インターフェースによる統合  
—プログラムとデータの分離

どのプログラムでも、データを読み書き  
できるようにしようとする製品である。

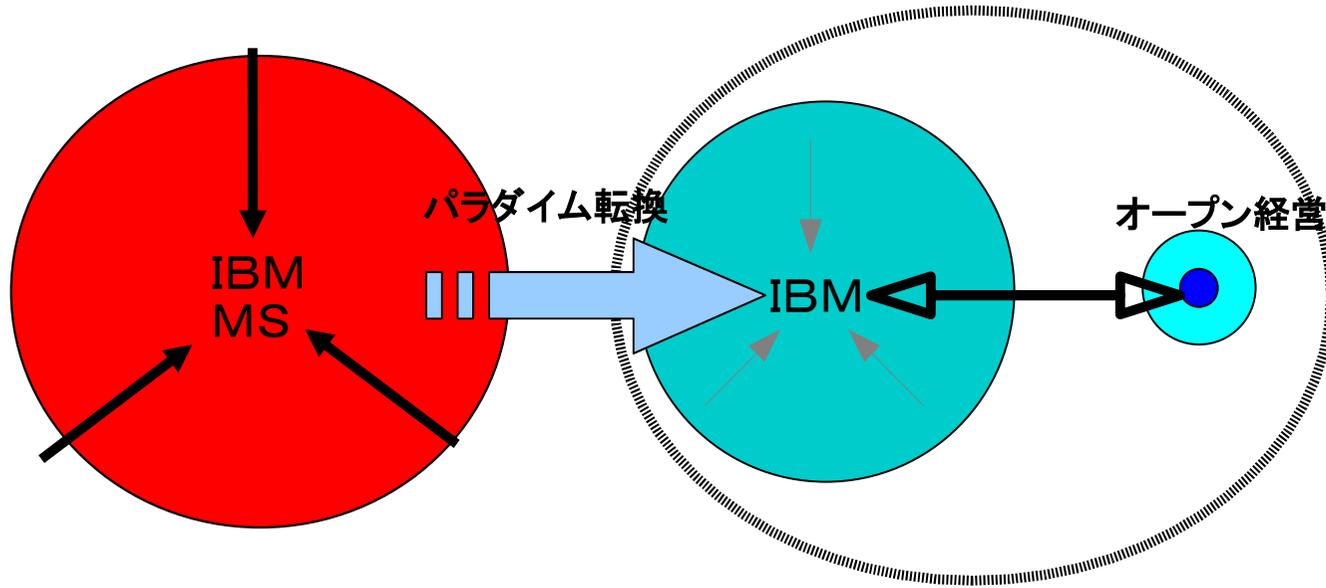
## OpenOffice を取り巻く状況

- ・MS-officeと同じ機能をもっていて互換性はそこそこある
- ・無料でありお金のない小さな企業では助かる
- ・メールするときには相手がMS-officeだとまずい



今の時代はある流れを持っている。その流れをよく読んで、それに合わせて行動を意味づけ、小さな無理のないステップを踏み出すことが地方の活性化の源である。みんながやっていることをやる旧来の方法は、都市集中のベクトルをもつ。ネットワークの時代で、地方の元気にならない国は国としても元気がなくなることになる。

# 情報産業の大転換



総合主義による囲い込み  
IBM/MS追随

囲い込み vs 標準インターフェース連携  
選択による多様社会へ

既存の組織をパラダイム転換した人；ガースナー

—巨象も踊る—からの考察—

**情報産業は百八十度転換し、ハードウェアやソフトウェアではなくサービス主導となる**  
IBMは「eビジネス」という言葉を作り、ネットワーク社会の中で何が重要で、何が重要でないかを定めるのに主導的役割を果たした。P153

一般的な見方ではパーソナル・コンピュータが、つぎの大物ということになっているが、そうではない。メインフレーム・モデルにとって直接的な脅威になったのは、サンやヒューレット・パッカードなどが中心になって進めた「オープン」なオペレーティング環境のUNIXが台頭してきたことだ。P164

95年の秋、この戦略への確信は深まり、**ネットワーク中心のコンピューティングをIBMの戦略的ビジョンの中心にすえる決定を下した。**P228

とはいえ、決断がもっとも難しかったのは、技術面でも財務面でもない。それは**企業文化の改革**だった。・・・こうした痛みの伴う企業文化の改革は、上からの号令でできるわけではない。私の力ではスイッチを入れることも行動を変えることもできなかった。そして、当初はできるはずがないとおもっていた。P237

巨象も踊る ルイス・ガースナー 日本経済新聞社

## オープン軸の空間(私の好み)

私がインターネットをすばらしいと思うのはその基本的デザインが力の分散を目指したものだからです。それを独占的に牛耳ることを拒否するだけでなく、何者をも排除しないのです。

To me, the beauty and significance of the Net is that it is, by its very design, a decentralizing force. Not only does it defy being controlled by any one entity, it doesn't discriminate.

-- Bill Joy Fortune Dec 11,'95

これから新しいことは次々に起きるだろう。しかしそれが自分の所から出てくると考えてはいけない。

Innovation will occur. It will occur elsewhere.

-- Bill Joy 1986(研究所の所長として)

「分散を目指す」ということは地方を大事にする、ということに通じます。インターネットは使い方をしっかりすれば、地方の自立に役立つインフラです。そのキーポイントはオープン・スタンダードで、その土壌はオープンソースをはぐくみます。

## 県内の企業や県民の間でOpenOfficeを

使えるように、いろいろな事情で自分では使うことができなくても、オープンオフィス  
をインストールしておいて、それを使った人から送られてくる情報を読めるようにする  
のはどうだろうか

OpenOffice.orgが県民の間で広まれば、個人や小さな企業に優しい県となり、ほかの人がやるから自分もやるという追従型の考えから、自分の考えを持った企業が育つ市場が創出される芽ができる。しかも実質的に、プロプライエタリーな製品に払っていた金が浮くので、何十億かの金が外に出ることなく県内で循環するので、県の経済を助けるはずである。

OpenOfficev2 のダウンロードは下記です;  
<http://ja.openoffice.org/>

END